

第十一條 貸出を受けたる組合は左の方法を以て返還するものとす
一、借入費用の残額は即時返還に當つるものとす 二、其他貸出の
際における契約の實行

附 則
一、本会庫の發達に伴ひ管理委員會は中央委員會と協議の上支金庫
其他地方事情に適應したる施設をなすことを得
二、本規約は昭和九年一月一日より實施す

(六) 日本労働組合會議情勢

一、概 観

昨年九月以降今日迄に至る日本労働組合會議の活動は、内
外共に特筆すべきものがある。即ち對内的には先づ地方協議
會の確立促進に滿身の努力を傾注し、既に數ヶ所に協議會の
確立を見、また、未確立の地方に於ても確立を目指して目下
日常闘争を通じて準備を進めつゝある。更に協議會の活動及
び協議會確立準備闘争、その他凡ゆる機會に於て加盟團體間
の協力と融和の深化を計り創立の精神を最も忠實に實踐化し
た年であつた。

對外的には産業労働及び社會立法の制定のための闘争は勿
論、悪法の改廢の闘争にも全力を挙げた、就中全産聯の團體
保險案には猛烈と起つてこれが反對闘争を敢行したアジア勞
働會議の結成に當つては日本労働組合會議はその主勢力とし
て活躍し、その他市電争議を初め對外闘争もその能力に應じ

三、評議員會

○昭和九年八月二十六日(大阪)
一、東京瓦斯産業労働組合の脱退に関する件 二、大會に関する件
三、全産聯の團體保險案反對通信資案支持に関する件 四、會社解
用組合併等の件

四、政治委員會の活動

(一)大會決定事項中の労働立法即時實施を政府に要求(十月二十八日
及び十一月一日)(二)産業及労働統制に関する懇談會(十二月十六日)
(三)全産聯團體保險反對闘争指令を發し同時に政府に對して團體保險
の實施、全産聯團體反對を要請(七月六日)

五、脱 退

東京瓦斯産業労働組合脱退(六月十五日)

六、國際關係

(一)第十八回國際労働總會代表に菊川忠雄、代表顧問に鈴木倉吉、岩
永栄一、代表顧問に鈴木悦次郎を選出派遣 (二)國際労働局調査部長
モーレット氏來朝(四月十七日) (三)國際労働局労働理事に米窪清亮
氏就任(六月二十日) (四)アジア労働會議結成(五月十日)

七、地方協議會の結成

(一)九州地方協議會(昭和八年十月廿七日) (二)北海道地方協議會(昭
和八年十一月六日) (三)名古屋地方協議會(昭和九年一月二十二日)

てよく遂行し得た。

二、執行委員會

○第七回(廣六)——昭和八年九月二十三日(大阪)
一、大會提出の事業及會計報告書 二、大會宣言書 三、大會
提出議案書 四、日本労働組合會議の件 五、大會準備に關
する件

○第一回(廣六)——昭和八年十月二十五日(東京)
一、臨時未亡人への慰問電文の件 二、人事に関する件 三、組合
會議第二回年度大會決議具體化の方策の件

○第二回——昭和九年一月十五日(神戸)
一、團體保險に関する件 二、第十八回國際労働總會労働代表委員
及顧問選出に関する件

○第三回——昭和九年三月二十五日(大阪)
一、大會決議實現に関する件 二、モーデーに関する件 三、地方
協議會結成の件 四、亞細亞労働會議結成に関する件 五、日貨排
斥問題に関する件 六、國際労働局調査部長モーレット氏來朝に關
する件

○第四回——昭和九年四月十八日(大阪)
一、ソシアル・ダンピング問題に對する態度の決定 二、第十八回國
際労働總會に對する態度の決定 三、亞細亞労働會議に對する態度
の決定 四、労働理事會改選に對する態度の決定

○第五回——昭和九年六月二十五日(神戸)
一、東京瓦斯産業労働組合脱退に関する件
二、昨年度大會に関する件

八、社會政策との關係

日本労働組合會議は政治闘争の遂行にあたり政治委員會を通じて、
社會大衆黨と協力の方針をとり活動した。

(七) 人事移動

○菊川主事及び鈴木關西事務局局長が國際労働會議出席のため
四月十九日渡歐、その留守中の役員補充を左の如く行つた。

- 主事代理 茅野眞好
- 會計代理 高橋 涉
- 關西事務局局長 山口常次郎
- 同事務局長 鶴 五三
- 政治部長 河野 密
- 組織宣傳部長 河野 勇
- 組合會議執行委員 河野 密
- 同評議員 井上良二

全國労働昭和九年度役員

- 中央委員長 河野 密
- 主事兼會計 菊川 忠雄
- 關西事務局局長 鈴木悦治郎
- 中央委員 茅野眞好